

日程：2024/5/3-6

山域：穂高岳

メンバー：中嶋 小林 平野 鬼川 山口 星島 松吉（記録 松吉）

コースタイム

2024 年 5 月 3 日(金)

8:00 上高地バス停→11:30 岳沢(幕営)

2024 年 5 月 4 日(土)

・中嶋班

4:00 岳沢(幕営地)→7:00 前穂高岳→10:00 幕営地

・平野班

4:30 岳沢(幕営地)→天狗のCOL・ジャンダルム→16:00 幕営地

2024 年 5 月 5 日(日)

8:00 岳沢(幕営地)→10:00 上高地バスターミナル

【詳細】

配車：3 車 中嶋号・平野号・松吉号

〈5 月 3 日 快晴〉

宝タクシー駐車場 7：00 集合。

今回の合宿は直前で参加人数の変更(3 名減)があり、荷物の再分配のため集合時刻が 1 時間前倒しとなる。(当初予定は 8:00 集合。)

集合後、ジャンボタクシーで上高地バス停へ（平野氏采配。）

上高地到着後、鬼川さんがハットを忘れたとのことで帽子を購入。カーキ色でよく似合っている。

共用荷物を分担。自身は 6 テンフライを担う事となるも、ザックはもはや満杯、追加スペースがない。

平野氏が背負ってくださる。

合宿を通して反省点は枚挙に暇がないが、現時点ではパッキングや持参物への知識が不足しすぎていたことを反省。

平野氏にご迷惑をおかけし、足に向けて寝ることができない、とうな垂れる。しかし、この 3 日間は多方向に渡りご迷惑を掛け続け、もはやどの方向へも足に向けて寝ることができない。

8:00 上高地発、岳沢へ。

岳沢までは約 3 時間、前日にピークに達した緊張と昨今の食欲不振からハンガーノック。

小林さんに頂いたラムネに心身ともに救われる。

岳沢までは雪渓が所々にあり、ハイキングとしても人気の様子、複数組のハイカーとすれ違う。

12:00 岳沢到着後幕営。中嶋班は 13:00 より幕営地近隣の傾斜で滑落時の初動やピッケルを利用した停止、雪上のセカンド引き上げの方法を習う。

14:30 幕営地へ帰還。

山口氏が晩食担当、メニューはカオマンガイ。

7 名分の米とチキンにて作成されるも、量が多くて余ってしまう。人数分より若干少ない目の炊飯が吉だと学ぶ。山上では残すことができないからだ。不足すれば、各自行動食で賄うこともできるだろう。

18:00 就寝。隣のテント（平野班）では UNO 大会が繰り広げられている。



〈5 月 4 日〉

2:30 起床 4:00 出発 奥明神沢より前穂高山頂へアタック

起床後、すぐにシュラフやマットを片付け場所を確保、テント内にて朝食を作る。

朝食後は湯を沸かし、各自のテルモスへ入れる。

■テントの中で炊飯を行う故の注意点

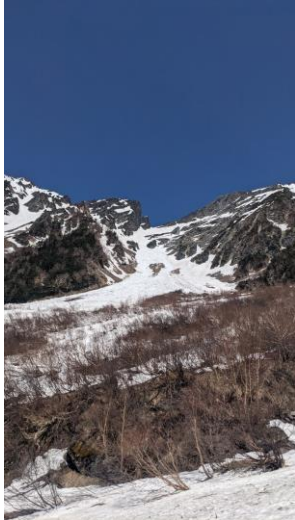
- ・ 各自の荷物は起床後 5 分以内に整理し、コンロスペースを確保する。
- ・ ガス缶は高冷地用のものを使用
- ・ 動くときは「動きます」と声かけ、他の人が鍋等を押さえる。（熱湯が倒れることを防ぐため）

テント内で靴を履き、ゲイターを装着。

■アタックザックへいれるもの

・ヘッドランプ予備電池 ・手袋(中手・外手) ・靴下の予備 ・防寒着 ・サングラス ・行動食水等
アイゼンはテント外で装着。装着時はテント周囲に注意する。

奥明神沢から前穂高岳をめざす。



雪は十分に付いており、トレースも多数あり登りやすい。

中嶋さんがヘッド、小林さんがしんがりを担う。

初心者向けのコースということもあり、登りやすい。少人数のパーティーがちらほら登っているのが見受けられる。

7:00 には頂上へ。



緊張やハンガーノックでナーバスになっていたが、山頂で突然に開ける視界と絶景に感動の涙があふれ出た。ハンカチなど持っていない。

大粒の涙を止めることができないが、小林さんの周囲の山々の雪の少なさを形容した「ハゲちらかしてんなあ。山」の一言で止めることができた。いつも頼りになる。

しばし頂上で見える山脈を教えてもらう。

剣・立山連峰・白山・御嶽山・乗鞍・富士山。

涸沢から奥穂高へアタックしている人々も見受けられる。

7:30 下山開始。

8:30 頃、中腹で休憩。

音もない落石が山口氏の背中に激突する。

雪山での落石は音がなく、休憩するときは山側を見ながら休憩するのが鉄則とのこと。

新人二人は身をもって体験する。骨への影響はない様子。

山口氏の様子をみながら 10:00 幕営地へ帰還。



空いた時間でテント内を整理する。

明日の山口氏の様子で、穂高アタックを決行か否かを決定することとなる。

本日の夕食担当は松吉、メニューはカレー。

こぶ尾根アタックをしていた平野班はジャンダルムへも足を延ばしており、帰還が遅く心配するも 16 時ころ帰還、全員無事で乾杯を行い、UNO 大会を行う。

UNO 大会については、最後は私と小林さんの一騎打ちとなるも、さすがの姉御。勝負強く、全員分のソフトクリームを掛けた勝負は松吉の負けで幕を閉じた。

8:00 就寝。

<5 日>

2:30 起床。

山口氏の大事をとり、西穂アタックは見送り。

下山が決定される。皆で二度寝する。

7:00 二度目の起床。

朝食（鬼川さん雑炊）後、8:00 岳沢(幕営地)発、10:00 上高地へ。

各自再度共用荷物が分配され、ザックへ押し込む。

理論上は食料分のスペースが開くはずだが、やはりザックへ荷物を入れるのは至難の業だ。

次回はほぼ何も持ってこないようにしようと心に誓う。

無理やり濡れた6 テンフライをザックに入れ、下山。

今回は3日間晴天が続き、あたたかな山行であった。

平湯温泉入浴後、高山市内で昼食、ひるがの高原 SA にてアイスクリームを食し、各自解散となる。



【感想】

初めてのアルパイン合宿への参加、不安やわからないことだらけであったが、学ぶことばかりだった。

ゲイターの後ろと前を反対に付け、さらに翌日には左右を反対に付ける。

もはやアルパイン以前の問題だとは思うが、今回学んだことはテイクノートし、次回の山行につなげたい。

合宿参加初日は参加したことを後悔していたが、冷静に山行記録を書いている今、早く次の合宿に参加したい気持ちで一杯だ。

初心者トレーニングの段階から導いてくださった会長、副会長。合宿中にいろんな知識を教授下さった諸先輩方へこの場をお借りし、感謝をお伝えさせていただきます。